



ウエイトリフティング部

部員数
19名

■ 1956年(昭和31年)公認



部長
岡田 純一
スポーツ科学学術院
教授



監督
堀井 勇也



主将
長谷川 元基
スポーツ科学部
鳥羽

2025年のわれは男子1部3位、女子は4位の成績を収めた。数年前から部員が離れ、フェニールシートなどはむかしから状況におぼろげに懸念したところ。一方、早稲田は6連覇の旗がたてられた。戦いながら、戦いながらの成長を待たない(自覚)：個人得点の減少(4人)がネックだが、団体戦とは8人～10人の個人得点を積み上げて決する。近年は部員減少に悩まながらも早稲田においては女子が男子7点以上で戦いながら、慶應の上げを喰いながら、遠征に戦った。また、慶應は競技力向上とともに部員確保に注力し、早稲田も早稲田の強さを、早稲田の優勝を求めた。本学も部員に立ち寄り、指導に取組み、且つ未経験者を含めた部員確保に専心する必要があるとされている。

一方、個人では東葉映(スポ2)の国際大会での活躍が光る。世界ジュニア(10/20)世界選手権において東が2位と、羽藤美優(スポ2)は8位入賞を果たした。東は東後の世界選手権にも選考され、10位の成績を収め、LA2028への向けて手応えを得ている。

今年の4年生は7名の個性的なメンバーが集まり、指導者として見ていて美しい学年でした。部員数が減少している中で競技に真摯に取り組んでおり、今年度のインカレでの4年生の活躍に期待しています。競技だけでなく、部の運営も役割分担、情報共有を行い、例年だと主将/主務に運営の負担が集中しがちですが、今年はみんなで運営ができていたと思います。部員数が少ない現在のウエイトリフティング部は全員が主体的になって部の運営に取り組むべきと後輩たちへ良い手本になっていました。何かと先の見えない社会情勢ではありますが、大学生活4年間の経験と自分たちの個性に自信を持ち、次のステージでの活躍を祈っています。

4年間の大学生活を振り返ると、多くの人との出会いと学びがあり、私にとってかけがえのない時間となりました。ウエイトリフティング部での挑戦を通して、日々の練習の積み重ねが自信となり、努力を継続することの大切さを学びました。記録が伸びず苦しむ時期もありましたが、仲間と支え合いながら乗り越える中で、競技の楽しさとチームの絆を実感しました。また、スポーツ科学部での学びを通して、人の成長や教育に対する理解を深めることができました。支えてくださった先生方、仲間、そして家族に心から感謝して、この4年間で得た学びと経験を糧に、これからも挑戦を続け、成長し続けていきたいと思っています。



主務
須藤 之博
スポーツ科学部
埼玉栄

4年間の大学生活を振り返ると、早稲田に入って本当によかったと心から感じます。言葉では言い表せないほど、多くの経験をさせていただきました。その中でも、部活動は何よりも自分を成長させてくれた場でした。価値観の違いでぶつかり合った日、腹を抱えて笑い合った日、目標に向かってお互いを高め合った日々――

仲間と多くの方々にお世話のおかげで、このような素晴らしい時間を過ごすことができました。これからは、これまで支えてもらった分、自分も誰かを支えられる存在になれるよう、1日1日を大切に過ごしていきたいです。



本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

◇令和7年度 第85回全日本ウエイトリフティング選手権大会

(4月24日～27日)

- 男子67kg級
 - ▷奥野伊真(スポ4)・トータル7位
- 男子81kg級
 - ▷吉野真太郎(スポ4)・トータル6位
- 男子89kg級
 - ▷須藤之博(スポ4)・トータル6位
- 男子96kg級
 - ▷長谷川元基(スポ4)・トータル3位

◇令和7年度 第39回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会

(4月24日～28日)

- 女子59kg級

▷堤菜央(スポ4)・トータル5位

女子71kg級

▷山田かな枝(スポ2)・トータル7位

女子76kg級

▷田中隲(スポ3)・トータル5位

◇2025世界ユース・ジュニアウエイトリフティング選手権大会

(4月30日～5月5日)

男子 ジュニア区分(U-20)81kg級

▷東葉映(スポ2)・トータル2位

女子 ジュニア区分(U-20)45kg級

▷羽藤美優(スポ2)・トータル8位

◇令和7年度 第71回全日本学生ウエイトリフティング

個人選手権大会 (5月16日～18日)

男子67kg級

▷奥野伊真(スポ4)・トータル3位

男子81kg級

▷吉野真太郎(スポ4)・トータル2位

男子81kg級

▷碓本海晴(スポ1)・トータル4位

男子89kg級

▷須藤之博(スポ4)・トータル1位

男子109kg級

▷菊地力哉(スポ4)・トータルなし

女子59kg級

▷徳田七海(スポ4)・トータル6位

女子71kg級

▷富愛美花(スポ1)・トータル4位

女子76kg級

▷田中隲(スポ3)・トータル7位

◇令和7年度 第53回東日本大学対抗ウエイトリフティング

選手権大会 (7月4日～6日)

男子67kg級

▷奥野伊真(スポ4)・トータル1位

男子81kg級

▷吉野真太郎(スポ4)・トータル3位

▷深堂煌志(スポ1)・トータル6位

男子89kg級

▷東葉映(スポ2)・トータル1位

▷碓本海晴(スポ1)・トータル3位

男子96kg級

▷須藤之博(スポ4)・トータル3位

男子102kg級

▷長谷川元基(スポ4)・トータル1位

男子109kg級

▷菊地力哉(スポ4)・トータル2位

女子49kg級

▷羽藤美優(スポ2)・トータル2位

女子59kg級

▷堤菜央(スポ4)・トータル1位

女子64kg級

▷徳田七海(スポ4)・トータル2位

女子71kg級

▷山田かな枝(スポ2)・トータル2位

女子76kg級

▷富愛美花(スポ1)・トータル3位

女子76kg級

▷田中隲(スポ3)・トータル4位

◇2025世界選手権大会 (10月2日～11日)

男子79kg級

▷東葉映(スポ2)・トータル10位

◇第79回国民スポーツ大会ウエイトリフティング競技会

(10月3日～7日)

男子67kg級

▷奥野伊真(スポ4)・トータル4位

男子89kg級

▷吉野真太郎(スポ4)・トータル4位

▷深堂煌志(スポ1)・トータル10位

▷須藤之博(スポ4)・トータルなし

男子96kg級

▷長谷川元基(スポ4)・トータル5位

男子109kg級

▷菊地力哉(スポ4)・トータル3位

女子49kg級

▷羽藤美優(スポ2)・トータル4位

女子59kg級

▷堤菜央(スポ4)・トータル6位

女子71kg級

▷山田かな枝(スポ2)・トータル8位

◇第67回早慶ウエイトリフティング定期戦 (10月25日)

60kg級

▷羽藤美優(スポ2)・トータル3位

▷佐治桃香(スポ2)・トータル4位

65kg級

▷堤菜央(スポ4)・トータル2位

▷徳田七海(スポ4)・トータル4位

71kg級

▷山田かな枝(スポ2)・トータル3位

▷富愛美花(スポ1)・トータル4位

79kg級

▷奥野伊真(スポ4)・トータル1位

▷上野友基(国教1)・トータル3位

88kg級

▷東葉映(スポ1)・トータル1位

▷碓本海晴(スポ1)・トータル2位

94kg級

▷吉野真太郎(スポ4)・トータル1位

▷深堂煌志(スポ1)・トータル2位

+94kg級

▷長谷川元基(スポ4)・トータル1位

団体戦結果：慶応104点、早稲田103点

